

## ふるさと応援寄附金（ふるさと納税）をいただいた皆様へ

新緑の候、皆様におかれましてはますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、寄附金として本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございました。

このたび、「ふるさと納税便り vol.2」を発行いたしましたので、皆様にお届けいたします。

ふるさと納税便りは、皆様から頂戴した貴重な寄附金を、どのように活用させていただいたのか、その内容について皆様にお知らせするものです。

今回お届けしている vol.2 においては、平成21年1月～平成21年12月に頂戴した寄附金を活用し、平成22年度に実施した事業内容について掲載しております。

また、平成22年1月～12月に頂戴した寄附金は、23年度の事業において大切に活用させていただく予定であり、その内容については、当該期間に寄附を頂いた方へ来年お届けする予定の vol.3 においてご紹介させていただきたいと考えておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

さて、本年3月11日に東日本大震災が発生し、想像を絶する被害が発生しております。

お亡くなりになられた多くの方々に哀悼の意を表しますとともに、被災された方々及びその御家族の方々に心からお見舞い申し上げます。

これをお読みいただいている皆様方におかれましても、ご本人あるいはご関係の方が被災される、又は生活上不便を強いられるなどの影響を受けている方が多くいらっしゃるのではないかと存じます。

佐賀市としましては、まず、防災物資の提供や職員を被災地へ派遣して被災地の自治体の支援を行うとともに、市民の協力による支援物資や義捐金の受付を行ってまいりました。また、相談窓口を設置し、被災されて佐賀市の親戚・知人を頼って避難される方々の受け入れや生活相談等の支援も行っているところであります。

被災地の一日も早い復旧と皆様のご健康を願ひまして、引き続き、佐賀市としてできるだけ支援をさせていただきたいと考えております。

最後になりますが、皆様に頂戴した温かいご支援は、佐賀市にとって大切な活力の一助となっております。

今後とも、ぜひ佐賀市への応援をよろしく願いいたします。

佐賀市長 秀島 敏行



## ふるさと応援寄附金 H22年度の使いみちについてご報告

平成21年1月～平成21年12月までに頂戴した寄附金、計1,610,000円については、下表のとおり、平成22年度実施事業において活用させていただきました。

また、「市長おまかせコース」を選択されて使途指定がなかったものについては、他の5つの寄附メニューに振り分けて活用させていただきました。

また、使途指定をいただいたものについては、ご指定内容をもとに活用させていただいております。

次のページからは、使いみちについて、詳しくご報告させていただきます。

メニュー項目	H21.1～H21.12 寄附金合計	H22年度事業 活用実績額	備考
(1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	115,000円	115,000円	
(2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い	820,000円	900,000円	うち、80万円は大和指定
(3) 多布施川のサクラ並木の保全	36,000円	95,000円	
(4) さあ！大人の出番です。「こどもへのまなざし運動」	0円	100,000円	
(5) 魅力ある地域文化保存継承への支援	20,000円	100,000円	
(6) 市長おまかせコース（指定なし）	319,000円	—	(1)から(5)へ振り分け
市長おまかせコース （指定：川副桜ロードの維持管理）	300,000円	300,000円	
合計	1,610,000円	1,610,000円	

### (1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」

2010年11月3日(水・祝)から11月7日(日)まで、アジア最大の熱気球イベント「2010佐賀国際バルーンフェスタ」が佐賀市の嘉瀬川河川敷をメイン会場として、佐賀平野一帯で開催されました。

今年の大会は、14ヵ国・地域から106機のバルーンが参加して熱戦が繰り広げられ、晴天にも恵まれたこともあり、バルーンフェスタ5日間で921,000人のお客様にご来場いただくことができました。



2010年は快晴に恵まれました



キーグラブレース(バルーンに搭乗しながらキー獲得を目指します)

また、2011年2月6日(日)、「環境にやさしい取り組み」として、バルーン会場に車などでご来場いただくお客様や、バルーン大会の競技で使用するプロパンガスなどから排出される二酸化炭素を削減し、地球温暖化の防止に貢献することを目的に、バルーンパイロットなどにより、桜の木200本の植樹を実施しました。

この植樹は、佐賀の大空に浮かぶバルーンと子どもたちの笑顔がずっと続くことを願い、今後も継続して実施を予定しています。

皆様から頂いた寄附金は、バルーン広報費用や環境対策としての植樹費用の一部に活用させていただきます。



バルーンパイロット等による植樹時の様子



佐賀の青空を守っていこう!

## (2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い（図書の充実）

ふるさと納税制度により佐賀市立図書館にご寄附いただき、誠に有難うございました。  
いただいた寄附金は市立図書館の資料の購入費に充当させていただきました。

佐賀市立図書館は「市民と共に育つ図書館」を基本理念として、市民の教養、文化の向上、教育、調査研究、趣味、娯楽レクリエーション等に資する資料を収集しています。

そのような中で、ふるさと納税制度によりご寄附いただきました財源で児童図書51冊と郷土図書18冊を購入させていただきました。

児童図書は子どもたちに、思いやりや、やさしさの心、勇敢な心、そして大切な想像力を育てます。佐賀市の将来を担う子どもたちの人間形成の中でとても重要な役割を担っています。

現在、寄附金で購入しました51冊の図書は児童図書の書架を飾り、子供たちは喜んで新しい本を手にすることができております。

また、郷土図書は郷土に密着した文化や、郷土が輩出した作家の本に親しむことにより、郷土愛を育み、地域の図書館としての特色を出すことができました。

購入させていただいた18冊の本は一般書新刊コーナーに展示し、読書好きの市民の方々に郷土についての情報を発信することができました。

今回ご寄附により購入させていただいた図書資料は児童の新刊コーナー・一般書の新刊コーナーで本の一部と購入リストを展示します（写真）。

また佐賀市立図書館ホームページ(<http://www.lib.saga.saga.jp/>)上にも掲載いたします。どうぞ、ご覧くださいますようお願いいたします。

一般書の新刊コーナーにふるさと納税制度で購入された郷土を展示しました。



ふるさと納税制度により購入された児童図書の一部



児童図書を喜んで手に取る児童の母



また、佐賀市大和町への寄附金につきまして、佐賀市立図書館大和館の図書資料購入費に活用させていただきました。

佐賀市立図書館大和館の「学び 集い 潤う」豊かな広場で、未知の世界へ誘うことができるような、一般書及び児童書279冊の購入に充てさせていただきました。平成22年「秋の読書週間」期間中に特設コーナーを設け展示をさせていただきました。現在は、書籍に「ふるさと」と表示をし、通常のカテゴリ別書架に置き、ご利用いただいています。

展示期間中は、佐賀市立図書館ホームページ (<http://www.lib.saga.saga.jp/>) 上に掲載し、やまとかんブログ (<http://yamatolib.sagafan.jp>) でもお知らせさせていただきました。



大和館まつりの一環として10月9日から11月9日まで郷土コーナーで展示しました。



### (3) 多布施川のサクラ並木の保全

多布施川河畔公園は、佐賀市の中央部を流れる多布施川に沿った公園で、約6キロにおよぶ園路には約3000本のサクラが植樹されています。

毎年春にはサクラの花が満開になり、多くの市民の方々が楽しみにしており、佐賀を離れた方々にもよき思い出の風景でもあります。

しかしながら、長い年月のなかで老木となり、枯れたり倒れてしまったものもあります。

今回、多布施川のサクラ並木の保全のため、ふるさと納税による寄附金をいただき、5本のサクラを新たに植樹することができました。

多布施川の景観の保全、佐賀のよき風景を守っていくため、公園の維持管理をしていくなかでも大変有難いことでした。植樹をした場所の近くに健康遊具や対岸には休憩施設が設置してあり、サクラの季節には新しく植えたサクラを楽しむことができますようになりました。



植樹後の写真（多布施川河畔公園にて）



多布施川サクラ並木の様子

#### (4) さあ！大人の出番です。「子どもへのまなざし運動」

『佐賀市のすべての大人が、子どもの育成に関心を持ち、かつ、主体的にかかわる社会『子どもへのまなざし“100%”のまち』の実現を目指し、市民総参加で子どもを育む市民運動（『子どもへのまなざし運動』）がスタートし、3年を経過しました。

市内すべての地域で、登下校の子ども達を見守る活動が行われるようになり、今回、ふるさと納税によっていただいた寄附金は、この見守り活動に取り組んでいただいている方への支援物品（まなざし運動のシンボルマークの入ったベスト）を購入させていただきました。

各地域からは、「ベストを着用し、子どもの見守り活動に参加したら、運動のシンボルマークを見て、子ども達が安心して挨拶してくれた。」

「見守り活動だけではなく、地域の色々な行事が行われる際に活用している。」などの声が聞かれました。



まなざしベストを着用し、登校する子ども達の見守り活動を行っています。  
(日新校区八戸町、自治会・長寿会・女性会・子ども会合同)

### (5) 魅力ある地域文化の保存継承支援

佐賀市には、地域住民によって地域固有の生活文化や歴史・文化が、引き継がれています。

例えば、祭りの時に奉納される「浮立や舞などの伝統芸能」は佐賀の代表的な行事の1つですが、次世代に保存・継承するためには、祭りで使用する道具類の新規購入や修繕に要する費用がかかり、地域住民にとっては負担が大きいとも言われています。

このような地域文化を保存・継承する事業に対する市補助金の一部として、「ふるさと応援寄附金」を活用させていただきました。平成22年度は下記の事業に補助を行いました。



①西田代町獅子舞衣装の新調

(地域のまつりで奉納される獅子舞に使用するハッピー)



②葉隠太鼓 太鼓購入備品整備

(長胴太鼓を2台購入)



③本庄校区「本庄の歴史と文化」出版事業

(本庄校区の歴史や文化について1冊の本にまとめる)



④えひめあやめ保全事業 遊歩道の整備

(久保泉町の国天然記念物えひめあやめ自生地に、来場者の利便性のため遊歩道の整備を行う)

## ◎その他

“有明佐賀空港『さくらロード』(川副町)の保存のために使っていただきたい”との寄附をいただきました

有明佐賀空港の北側に桜の隠れ名所『さくらロード』があります。さくらロードは延長1.7km、その両側には400本以上の桜が彩り、満開時の景色は、まるでピンクの滑走路を連想させます。

この桜は、有明佐賀空港開港時に関東川副町人会から寄贈を受けたもので、植樹後13年を迎えています。13年という年月が経過している為、桜が枯れたり、倒れたりして欠株となっているところが目に付くようになってきていました。

今回、さくらロードの維持管理のため、ふるさと納税による寄附金をいただき、10本の桜を新たに植樹することができました。

たくさんのご支援をいただき通常以上の管理が出来るようになりました。また、今年は数件の観光パンフレットに川副さくらロードを取り上げていただきました。

今後も佐賀の空の玄関口として、多くの方が訪れる憩いの場になるように努力していきたいと思っておりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。



寄附金を活用し、10本の桜を新たに植樹することができました



H23.4.2 川副さくらロードで観桜会を行うために帰省された、関東川副町人会、関西・中京川副町人会、よかよ川副応援隊、一般参加の方、約80名で清掃を行い、その後、参加者で花見をされました。

また、関東川副町人会からは花見用のベンチが寄贈され、佐賀市へも桜の維持管理費を寄附していただきました。



今年の川副桜ロードの満開の様子

## ふるさと応援寄附金 H23年度の使いみちについてご報告

平成22年1月～平成22年12月までに、2,586,000円もの寄附金を頂きました。

頂戴した寄附金 2,586,000 円のうち、1,945,000 円については、下表のとおり平成23年度実施予定の事業に予算化させていただきました。

さらに、「市長おまかせコース」を選択され、使途指定がなかったものについては、5つの寄附メニューに振り分けて、予算化させていただきました。

また、使途指定をいただいたものについては、ご指定内容をもとに予算化をさせていただいております。

具体的な活用内容については、当該期間に寄附を頂いた方へ来年お届けする予定の vol.3 においてご報告させていただきます。

メニュー項目	H22.1～H22.12 寄附金合計	H23年度事業 予算化額	備考
(1) 晩秋の佐賀の風物詩「バルーン大会」	197,000 円	197,000 円	
(2) 市立図書館での生涯学習のお手伝い	27,000 円	109,000 円	
(3) 多布施川のサクラ並木の保全	417,000 円	417,000 円	
(4) さあ！大人の出番です。「こどもへのまなざし運動」	72,000 円	109,000 円	
(5) 魅力ある地域文化保存継承への支援	34,000 円	109,000 円	
(6) 市長おまかせコース（指定なし）	194,000 円	—	(1) から (5) へ振り分け
市長おまかせコース (指定：川副桜ロードの維持管理)	1,630,000 円	990,000 円	多額の寄附を頂戴したため、残額は積立てて、H24年度以降に使用させていただきます。
市長おまかせコース (指定：定住促進)	14,000 円	14,000 円	
市長おまかせコース (指定：大隈記念事業)	1,000 円	0 円	積立てを行い、後年度に使用します。
合 計	2,586,000 円	1,945,000 円	